

第3回 グローバル人材育成事業 in ケアンズ

8月17日(木)から25日(金)まで日和佐・由岐中学校の生徒12名がグローバル人材育成事業に参加しました。グローバル人材育成事業は、姉妹都市であるオーストラリアケアンズ市のトリニティベイステイトハイスクールに通学し、一般家庭にホームステイするという事業です。



自信へつなぐこと

天野 愛 琳

グローバル人材育成事業で、たくさんのことを学びました。1つ目は、オーストラリアの生活習慣です。寝る時間が早かったり、食事が1日4食だったりしたことです。初めて聞いたときは、びっくりしました。でも、食事というより軽食やおやつのような感覚で



した。

2つ目に、学校での生活です。学校の生徒数が千人をこえているので休み時間になると、周りには人がたくさんいました。学校の授業で日本語のクラスもあったので、生徒さんと少し日本語で話すこともできました。

3つ目は、ホームステイをしていることに思ったことです。初め、私はホストファミリーと上手に会話できるかととても心配でした。でも、ジエスチャーや簡単な英語で優しく接してくれました。私は、自分が言った英語でホストファミリーと会話ができてうれしかったです。

私は、これから自分の行動などに自信を持つと思えました。グローバル人材育成事業に参加することで、私は自信を持つことが大事だと感じました。今の生活の中でも、自信を持つことができるのがたくさんあると思うので、何事

にも自信を持ってたくさんの方に挑戦したいです。

オーストラリアと

日本の違い

岩澤 善 古

僕はオーストラリアで、言葉や食事、また人柄等のいろいろな日本との違いを感じる事ができました。その中で、特におもしろく感じた違いが2つあります。

まずは、食事です。日本では朝昼晩の大体が主食、副食、汁物等で構成されていると思いますが、オーストラリアでは違っていました。朝は大麦等を乾燥させたオートミールに牛乳をかけて食べ、11時ぐらいのモーニングティーではサンドイッチが出て、1時くらいに昼食としてタコスのようなものが出て、晩にはチキンバーガーを食べました。1日4食という文化は初めてでびっくりしました。また、後から聞いた話ですが、オーストラリアでは日本と肉の種類の間隔が逆で、鶏肉が一番高く、豚、牛肉と続くそうです。先に、晩ご飯にチキンバーガーが出たと書きましたが、鶏肉が食卓に出ると歓迎されている感じがあり、よかったです。

